



4地域の名工と造り上げた110周年記念限定モデルをセイコー プレザージュより発売

日本の伝統工芸に光を当て、機械式腕時計で日本の美を発信する「セイコー プレザージュ クラフツマンシップ シリーズ」より、先人から継承するモノづくりの技法を生かした、セイコー腕時計110周年記念限定モデル4機種が、6月23日より発売される。価格は198,000円〜275,000円。

日本のモノづくりを牽引してきた先人に敬意を示し、地域社会と共に発展してきた伝統産業、「駄那(ほうろう)」、「漆」、「有田焼」、「七宝」それぞれの技法を用

いて表現した特別なモデルとなる。伝統工芸を用いたダイヤルの美しさを際立たせる、ローマ数字とインデックスを交互に配した変則レイアウトや、腕に心地良くなじむシンプルなケース造りなど、セイコーの時計づくりの歴史に基づく使い心地とクラシカルな味わいを大切にしている。またストラップには、LWG(レザーワーキンググループ)の認証を取得しているタンナーで生産されたレザーを使用する。セイコーが生んだ国産初の腕時計「ローレル」のダイヤルに用いられた駄那は、温もりある白色とみずみずしい艶を持ち、110年経った現在でも美しさを保ち続けている。調理器具に用いられるほど耐久性に優れた駄那は、鉄系材料のダイヤルに不純物のきわめて少ない粘土・純水・ガラ

ス等を原料とする釉薬(うわぐすり)を塗布し、高温で焼成する。気温や湿度により釉薬の各成分比率を調整するなど、高い技量が求められる駄那ダイヤルは、先人からの技術伝承と駄那職人の横溝満氏の飽くなき探求心により、今なお手作業で丁寧に焼き上げられ、駄那ダイヤルにしか表現できない、艶やかな光沢と色褪せない美しさを世に送り出している。武家文化に育まれ、優美な美しさを携え、貴重な文化遺産として人々に愛されている金沢で丁寧に作られる漆ダイヤルを用いた新作は、金属と漆を直接結びつける革新的な製造手法と、平滑面を生み出す古来伝承の技を組み合わせて作られる。漆芸家の田村一舟氏の監修により、多くの漆器職人が携わり、何十回も塗りや研ぎを繰り返すことで、特有の美意識が育む金沢の美しい街並みを、漆独特の艶やかな赤茶色の色彩で表現している。1616年、「泉山磁石場」地で素晴らしい陶石が見つかり、日本初の磁器として「有田焼」が生まれ、伝統工芸としてこの地に根付いた。その匠の技は400年にわたり受け継がれ、独自の芸

術性が多くの人を魅了している。新作は、自然の恵みをもたらした有田の泉山磁石場の情景を、磁器特有の艶やかな色彩と立体形状で表現。腕時計に求められる耐久性を実現するため、従来の4倍以上の強度をもつ強化磁器素材を用い、高精度の鋳型による鋳込み工程を経て、1300℃の高温で焼成する。施釉と複数の焼成を重ねるなど、難度の高い複雑な工程は、創業190年の老舗「しん窯」に所属する陶工 橋口博之氏監修のもと制作される。古来より、海が日本を島国たらしめたことで、伝来した技術・工芸が独自の進化を遂げ、日本固有の伝統文化として、その形成を促してきた。新作の七宝ダイヤルも海を越えて伝来し、独自に進化した日本を代表する伝統工芸の一つ。尾張七宝の施釉師の戸谷航氏が、鉛を含まない独自の釉薬を用いて、約800℃で複数回に渡って焼成を繰り返した後に精密な研磨加工を施すことで、平滑な七宝ダイヤルを生み出している。美しい釉薬越しに波が揺めく様をイメージさせるダイヤルは、海へのオマージュを表現している。



110周年世界限定4000本、付属のファブリックストラップを着用

セイコープロスペックスのダイバーズウォッチで初となる、メカニカルGMTムーブメントを搭載したレギュラーモデル2機種と限定モデル1機種が6月9日より発売される。価格は209,000円〜231,000円。登場するのは、1968年発売の歴史カルモデルをベースに、プレミアムスポーツウォッチにふさわしいスペック、デザインへとアップデートを遂げたダイバーズウォッチ。

新メカニカルキャリバー「6R54」は、GMT機能を備えながら、3日間(約72時間)のロングパワーリザーブを可能にした新開発のムーブメント。GMT針を単独で調整できるため、自国の時刻

はそのままに、第二時間帯を容易に変更できる。また、本作は耐傷性に優れた艶やかなセラミックスの回転ベゼル表示板を採用。逆回転防止ベゼルは、優れた操作性と精緻な造形を両立させ、ソリッドで低重心なケースと響きあい、美しいフォルムを実現。さらに、新規で開発したプレズレットは手首にフィットするスリムな形状で、快適な装着感を提供する。レギュラーモデルに加え、セイコーが国産初の腕時計を世に送り出してから110周年を記念した限定モデルとして、大いなる海へ感謝の気持ちを込め、海を保護を支援するプロスペックスの想いを象徴するSave the Oceanシリーズも登場。付属する付け替え用のファブリックストラップは、複数色の糸を組み合わせた立体的で豊かな表情の織り柄が特徴。環境に配慮し、ペットボトル再生原料を100%用いて、「製紐(せいちゅう)」と呼ばれる日本の伝統技術に基づく技法で編み込まれている。この製紐技法により、セイコーダイバーズウォッチの厳しい基準をクリアし、タフな使用環境での長時間使用にも耐え得る丈夫さを備えている。

上品で凛としたデザインに、使いやす機能性を兼ね備えたレディスウォッチブランド「CITIZEN xC」のmizuコレクションから白蝶貝文字板にサクラの花かんむりとラボグロウ・ダイヤモンドをあしらった世界限定2,000本の「SAKURA限定モデル」が、国際女性デーの3月8日に発売された。価格は137,500円。艶やかな白蝶貝文字板にサクラの花かんむりをイメージしたパターンをエッチングし、繊細なラメを施した。エ

シカルな合成ダイヤモンド「ラボグロウ・ダイヤモンド」6ポイントを、瑞々しい雪のようにセッティングした、この春だけの華やかな限定モデル。軽量でキズに強く、肌に優しいスーパーチタニウムTMのケースとバンドには、女性の肌を明る

く美しく魅惑するサクラピンク®を採用。着けたまま手を洗っても安心な5気圧防水。定期的な電池交換が不要の光発電エコドライブを搭載するとともに、世界4エリア(日本、中国、ヨーロッパ、北米)で電波を受信し、正確な時刻に修正する多局受信型電波

時計と充実した機能を備えている。mizuコレクションの特徴であるミルグレインドロップガラス、さらに華やかにあしらわれた6石のラボグロウ・ダイヤモンドで瑞々しさを表現。インデックスにサクラの花びらデザインのカットパーツを4ポイント、12時と6時位置に視認性の良いアラビア数字を使用。文字板の上をサクラの花びらが舞うようにデザインされたクロスシオリジナルのサクラモチーフの秒針を初め

春を祝福するような華やかなシチズンクロスシーSAKURA限定



最大の特徴と魅力は、時計内部の構造が視認できることに尽きる。スケルトンダイヤルのカットワーク、フランチ、ベゼル外周、ベゼルのビス部分にはブルーカラー仕上げ。インデックスへはレッド、ラバーストラップはホワイトカラーを使用し、クールでスポーティーな印象に仕上げられている。ケースと一体化するラグには2つのリングが備わり、ラバーストラップを強固に固定。審美面と色を追加し、3月15日から発売開始した。取扱はGMインターナショナル。

「デルフィン」の最新進化系として、エドックスは、モダンスケルトンウォッチ「デルフィン メカノ オートマティック」に爽やかなマリンカラーの新色を追加し、3月15日から発売開始した。取扱はGMインターナショナル。



数量限定モデルが話題 アクトラインから

「シチズンアクテッサ」ACT Lineから、金属文字板の特性をいかしたカラーリングが美しいトリプルカレンダーとムーブメントを搭載した数量限定モデルが3月9

日より発売され話題となっている。「高貴なパープルカラー」が特長のBU0066-11Wは、ブラックカラーとパープルカラーのダイヤルで個性を出しつつ幅広いシーンにマッチするデザイン。鏡面仕上げのデュラテクトDLCベゼルと金属文字板の質感を生かした高貴なパープルが手元を彩る。世界限定1,300本、価格は68,200円。艶やかなバーガンディカラーの文字板が特長のBU0060-17Wは、サブダイヤルにきらりと光る金属パーツのピンクゴールドの差し色がひと



最新進化系として「デルフィン」のエドックス

印象に仕上げられている。ケースと一体化するラグには2つのリングが備わり、ラバーストラップを強固に固定。審美面と色を追加し、3月15日から発売開始した。取扱はGMインターナショナル。

「純粋な時計の構造や組み立てまで全部を楽しんで欲しい」という想いから生まれた機械式の時計組立セット「AKATSUKI」の資金調達及び販路拡大を目的に、応援購入サイトMakuakeにて3月3日から先行販売を開始した。同社は、海外では機械式時計のDIYが一つのジャンルとして確立されている。日本でも同じく「純粋な時計の構造や組み立てまで全部を楽しんで欲しい」とした。必要な工具は全て同梱されている。自宅に届いた瞬間から機械式時計を自分の手で組み立てる醍醐味、針が動き始める瞬間の喜びを楽しむことができる。価格は89,000円。

レトロなメカデジ BREDAに独創的なデザイン

性別を問わず高い評価を受けてきたシンプルでスタイリッシュな時計ブランド「BREDA」の人気シリーズPULSE(パルス)に、新たな独創的なデザインが登場した。小さな小窓に刻まれる、その瞬間の時刻を、人生の中で大切な瞬間としてフォーカスして欲しいという願いを込めてデザインされた今回の新作は、TANDEM(タンデム)と名付けられ、1970年代に流行したメカデジデザインのレトロさはそのままに、小窓は2つにして視認性を高め、半円にくりぬいたケースからはムーブメントが見えるよう



設計し、さらに個性を主張するジェンダレスなデザインに進化させた。ブランドコンセプトでもある「less self-expression.」(時を超えて、自分らしく。)に寄り添い、自分らしさを表現するツールとしてのタイムピースに仕上がっている。3月10日から先行販売され、予約販売分は一部完売。価格は29,700円。取扱はマーサイインターナショナル(株)。



法人向けイベントVRコンテンツのレンタル・制作を行う快適デジタル(株)(愛知県豊橋市、酒井博紀社長)は、今年7月の設立10年に向けて初となる「Made In Japan」を上回る「真の意味での日本製にこだわった」時計ブランド「JUNZEN(ジュンゼン)」を立ち

上げ、ブランド第1弾として「純粋な時計の構造や組み立てまで全部を楽しんで欲しい」という想いから生まれた機械式の時計組立セット「AKATSUKI」の資金調達及び販路拡大を目的に、応援購入サイトMakuakeにて3月3日から先行販売を開始した。同社は、海外では機械式時計のDIYが一つのジャンルとして確立されている。日本でも同じく「純粋な時計の構造や組み立てまで全部を楽しんで欲しい」とした。必要な工具は全て同梱されている。自宅に届いた瞬間から機械式時計を自分の手で組み立てる醍醐味、針が動き始める瞬間の喜びを楽しむことができる。価格は89,000円。

アイ・ネク ARNE JACOBSENが岐阜県初 インテリアショップで期間限定フェア

展開し、通常は展開していないパングルウォッチ、人気のミナベルホネとのコラボレーションウォッチも展開している。岐阜県でARNE JACOBSENの腕時計の実物を手に取れるのは「マリアージュ」のみ。フェイスとストラップの付け替えも楽しめる(一部商品には付け替え対象外)。

展開し、通常は展開していないパングルウォッチ、人気のミナベルホネとのコラボレーションウォッチも展開している。岐阜県でARNE JACOBSENの腕時計の実物を手に取れるのは「マリアージュ」のみ。フェイスとストラップの付け替えも楽しめる(一部商品には付け替え対象外)。



「ティソ」の色褪せることがないクラシックモデル、シュマン・ド・トゥレルがアップグレードしたオートマティックムーブメントにより、新たに生まれ変わった。ポイントは、丹念に磨きあげられたケースとたつぷりとしたドーム型のサファイアクリスタルガラス。こうしたこだわりは針にも施されている

ことがわかる。サンドブラストとポリッシュで仕上げられた質感は、目を喜ばせるだけでなく、ウォッチをすっきりと際立たせ読みやすくしている。さらに、スリムなインデックスに施されたカーブとなだらかなファセットカット。さりげないディテールがウォッチ全体にくっきりとした印象を与えている。これらの要素が相まって、視線はダイヤルの端へと移り、フッと息を吐くような、穏やかな安心感をもたらす。34mm、39mm、42mmの3つのケースサイズで展開。同様に、ステンレススチール、ローズゴールド PVD コーティング、ステンレススチールとローズゴールドPVDコーティングのバイカラー仕上げのストラップも登場。ダイヤルとストラップは、カラーもバリエーションから選ぶことが可能だ。

欧州最高峰モンブラン登頂 植村直己氏の偉業称える限定モデル

1970年のオリジナルモデルと異なり、側面を鏡面で録取ったケースに5列のプレズレットを組み合わせて、モダンかつシャープな佇まいに生まれ変わっている。ケースとプレズレットは、時計を傷から保護するためのセイコー独自の表面加工技術ダイヤモンドで仕上げられ、内面無反射コーティングを施したカーブサファイアガラスを採用。更には防水性能も200mの空気潜水用防水へと進化している。搭載ムーブメントは、準石高級時計工房で製造するダイバーズウォッチ専用のメカニカルムーブメント8L35。高精度と堅牢性を備え、腕時計としての基本性能を大幅に向上させている。



セラミックを使用した「VERSACE」の新作機械式登場

ラミック製の新作機械式時計「DV ONE AUTOMATIC」を3月15日から発売した。高級素材であるセラミックを踏襲することで、実用性と高級感が一体となったエレガントな機械式時計が完成した。グレカ模様やメドゥーサなど、VERSACEのアイコンを同色でさりげなく配置。高級感の漂う艶やかなセラミック素材と相まって、手元をエレガントに装う。価格は432,300円。

タイの視覚障害者学校の卒業生に視覚障害者対応腕時計を寄贈

シチズン時計(株)は、タイの視覚障害者学校に対して視覚障害者対応腕時計を寄贈。ロップリー県にある、ロップリー複合視覚障害者学校(正式名称: School for the Blind and the Blind with Multiple Handicaps Lopburi)にて、3月14日に寄贈式が行われた。寄贈した腕時計は、あらゆる人が快適に使えるよう、健常者だけでなく視覚障害者を持つ人、弱視の人など、使用を想定される人が企画・開発段階から

とした山並みのシルエットをエッチングで際立たせ、植村氏がその眼で見たであろうモンブランの勇壮な眺望を、同じ登頂ルートから見た角度で再現。りゅうずと回転ベゼル外周のブルーは、雄大な山嶺を包み込む青い影をイメージ。太く堂々としたインデックスと針にはルミブライトが塗布され、暗闇での視認性を高めている。

1970年のオリジナルモデルと異なり、側面を鏡面で録取ったケースに5列のプレズレットを組み合わせて、モダンかつシャープな佇まいに生まれ変わっている。ケースとプレズレットは、時計を傷から保護するためのセイコー独自の表面加工技術ダイヤモンドで仕上げられ、内面無反射コーティングを施したカーブサファイアガラスを採用。更には防水性能も200mの空気潜水用防水へと進化している。搭載ムーブメントは、準石高級時計工房で製造するダイバーズウォッチ専用のメカニカルムーブメント8L35。高精度と堅牢性を備え、腕時計としての基本性能を大幅に向上させている。

関わるというインクルーシブなデザインアプローチを採用した新たな視覚障害者対応腕時計として、2020年に発売。開発にあたり、ロップリー複合視覚障害者学校の在校生や教職員の見聞き、実用性やデザインを向上させた経緯がある。また、発売に合わせてロップリー複合視覚障害者学校に時計100本を寄贈し、その後も毎年卒業生に寄贈するなど継続的なサポートを行っており、卒業生への寄贈は今回で3回目となった。寄贈式には、タイ・エタヤにある製造グループ会社のROYAL TIME CITI CO.,LTD.代表の長田貴夫氏が出席。多くの教職員と生徒たちに笑顔で迎えられ、日頃から時間の読み方を教え、寄贈した腕時計は着け心地も良く非常に使いやすいと喜ばれた。